

1. 科目名 (単位数)	保育内容総論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2130
2. 授業担当教員	和崎 光太郎		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育者として保育内容を考える際、保育内容の5領域や子どもの活動に対する理解は重要である。しかし、子どもの実態に応じて保育を構想するためにはこれらの理解のみでは十分条件とはならない。これらに加えて、養護と教育が一体的に展開する保育、環境を通して行う保育、遊びによる総合的な保育といった一連の保育内容の展開に関する考え方への理解が深まることで、はじめて目の前の子どもの姿から具体的に保育を構想することが可能となる。本講義の目的はここにあり、子どもの姿から保育を構想していく際に必要な考え方を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>学生には下記の日標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園保育・教育要領に基づいた現代の保育の全体的な構造を理解し、説明できる。 2. 保育の歴史の変遷について学び、保育の基本及び保育内容について「保育の日標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて説明できる。 3. 子どもの生活や遊びの総合性を理解し、保育内容を領域別に指導するのでは無く、相互関連性等を踏まえた総合的な指導の在り方を理解する。特に、各領域が発達を捉える視点であることを具体的に説明することができる。 4. 子どもの発達の特性や発達過程を踏まえた観察や記録の観点を習得し、子ども理解を深める姿勢を身に付ける。 5. 多様な保育展開について学び、子どもの育ちに相応しい保育を構想することができる。 6. 現代社会における様々な保育課題を知り、常に保育者としての資質と専門性の向上に努める姿勢を身に付ける。 		
9. アサメント (宿題) 及びレポート課題	<p>教科書を完璧にマスターすることを目指し、そのための宿題として「事前学習」・「事後学習」を下記「14」に明記した。</p> <p>授業態度の評価は、各授業の最後に実施する確認テストの評価を含む。</p> <p>中間課題 (第9回の提出物) として、年齢別の発達特徴・保育内容の基本をまとめた表を作成する。</p> <p>期末テストは教科書の内容から出題する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書 (この3冊は必ず授業に持参)】</p> <p>豊田和子編『実践を創造する 演習・保育内容総論』みらい</p> <p>※下記「14」における「教科書」とはこの本のことを指す。</p> <p>文部科学省「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示)</p> <p>厚生労働省「保育所保育指針」(平成29年3月告示)</p> <p>【参考書】</p> <p>東京福祉大学編『保育児童福祉要説 第5版』中央法規</p> <p>内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に対する参加態度 (授業に臨む姿勢、個別学習・グループ学習における課題への取り組み) は意欲的であったか。 2. 提出物の期日は順守できたか、取り組みの内容は十分なものであったか。 3. (試験) 授業を踏まえて学習目標に示された内容が定着していたか。(レポート) テーマに沿って分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度 50% 2. 提出物とその内容 20% 3. 期末試験もしくは期末レポート 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「事前学習」と「事後学習」は必ずやってくること (計180分)。やってきている前提で、授業中に発言・話し合いを求め、授業の最後に当日内容の確認テストを実施する。「事前学習」と「事後学習」における熟読とは、他者に説明できるくらい深く内容を理解することを意味する。</p>		
13. オフィスアワー	授業中に提示する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (授業概要・学習の説明) 子どもを取り巻く環境の変化とこれからの保育内容 (「教科書」第1章)	事前学習	シラバスを読む 「教科書」第1章を熟読 (購入済の場合)
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第2回	保育所・幼稚園・認定こども園の役割 (「教科書」第2章)	事前学習	「教科書」第2章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第3回	保育所・幼稚園・認定こども園の保育内容 (「教科書」第3章)	事前学習	「教科書」第3章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第4回	保育内容を展開するプロセス (「教科書」第4章)	事前学習	「教科書」第4章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読

第5回	乳児（1歳未満）の保育内容（「教科書」第5章）	事前学習	「教科書」第5章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第6回	1・2歳児の保育内容（「教科書」第6章）	事前学習	「教科書」第6章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第7回	3・4・5歳児の保育内容（「教科書」第7章）	事前学習	「教科書」第7章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第8回	就学前教育と初等教育を接続する保育内容（「教科書」第8章）	事前学習	「教科書」第8章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第9回	中間課題の提出 異年齢児の保育内容（「教科書」第9章）	事前学習	「教科書」第9章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第10回	子育て支援を創造する保育内容（「教科書」第10章）	事前学習	「教科書」第10章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第11回	地域に開かれた保育所・幼稚園等を創造する保育 内容（「教科書」第11章）	事前学習	「教科書」第11章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第12回	わが国における保育内容の変遷（「教科書」第12章）	事前学習	「教科書」第12章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第13回	諸外国の保育所・幼稚園の保育内容（「教科書」第13章）	事前学習	「教科書」第13章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第14回	これからの保育内容の課題（「教科書」第14章）	事前学習	「教科書」第14章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第15回	これまでの振り返り	事前学習	「教科書」で学習が不十分だと思ふところを重点的 に読み直す
		事後学習	授業内容で学習が不十分だと思ふところを復習し、 期末試験に備える。
期末試験			